



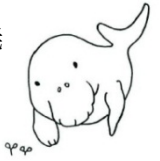
# ジュゴン Vol.112

## ちゃんぷるニュース

**SDCC 2020. 9. 29**  
Save the Dugong Campaign Center

### CONTENTS

- 2/3 情勢・設計変更公告縦覧へ意見書を  
● SDCC 意見書骨子
- 国際的取組での意見書の意義
- 4/5 コロナ禍に工事加速
- 各地の取り組み報告
- 6/7 コラムー辺野古異聞(2)
- わんさか通信★ジュゴンのわ



辺野古の海を守りたい。新基地建設を早く止めたい。

この夏は大変でしたね。温暖化による異常気象は現実で、新型コロナの感染は続いています。天災はしかたがないけど、人災は何とかしたい。自然破壊に森林火災に種の絶滅…。格差・貧困・差別…。人災による問題は山積みです。

## 辺野古の海を守る意義は深まるばかり

コロナ禍で外出が制限される中、近所を散歩するのが日課になりました。

「今日の空は清らかだなあ」と思ったり、セミの抜け殻を見つけて喜んだり。4月は桜が満開でいろいろな花も咲き誇っていました。今は、田んぼに稲が実っています。季節の移り変わりを実感、なんだかすごいな。今までであったものたちを見ていなかった自分にも気づきます。公園で子どもと遊ぶお父さんをよく見かけました。仕事もいいけど、こんな時間いいよね。世の中もっとゆっくりペースになると、争いも減るし、資源の無駄遣いも減るし、様々な問題が解決に向かうんじゃないかなと思います。

辺野古の海に会いに行きたいな。

2008年に初めてみた大浦湾のアオサンゴ、なんてすばらしい海だろうと思った。

今の土砂投入の状況を想像することなんてできなかった。

「この海があったから生きてこれた」というおばあたち

「お金がないと生きられない」と思い込む都会の人たち

この違い、この差、何とかできたらいいな、と思う。

文化的にも、歴史的にも重要な沖縄のジュゴンが絶滅寸前…。

私たちは未来に何を残せるでしょうか。

辺野古の海を守る意義は深まるばかりです。

(関西 池側恵美子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



大浦湾のアオサンゴ(本面)



上野駅前設計変更申請(公告縦覧中)への意見書送付を呼びかけ(5面)

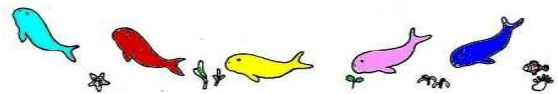
# 菅内閣に設計変更不承認を突き付けよう

9月16日臨時国会で菅内閣が選出されました。菅首相は安倍前内閣の沖縄政策責任者として、辺野古新基地建設を強行するために重要な選挙に介入してきました。今年の沖縄県議選や県議会議員選挙にもかかわっています。9月8日から始まった「沖縄防衛局の設計変更承認申請」の公告縦覧に全国から不承認の意見書を大量に集中することが、菅内閣に大きな打撃を与えることとなります（前回の公告縦覧に集中された意見書数3371）。公告縦覧がコロナ対策で7月下旬から延期となり、9月8日申請期限以前に沖縄県に約500件が届くなど関心は高まっています。今、関係者に再提出を働きかけています。

沖縄防衛局は承認申請書で「今回の設計変更が環境に及ぼす影響程度は…変更前と同程度又はそれ以下」としています。しかし、護岸工事をせずに、水深4.2メートルから7mまで大量の土砂を投入。また、軟弱地盤工事で7万本もの杭を打つにもかかわらず「影響程度が変わらない」ことはありえません。SDCCはジュゴン保護の観点から4000字を超える意見書を出しました（意見書の要約は別掲）。

9月28日意見書の締め切り後、沖縄県は出された意見を整理し内容審査に入ります。また、地元の自治体や海上保安庁、県環境部局と調整します。名護市長は4か月以内に市議会の同意を得て、県に意見書を提出しなければなりません。

渡具知名護市長は辺野古新基地建設について「国と県との問題であり、裁判の行方を注目したい」と無責任な態度をとってきましたが、今回は逃げることはできません。また、沖縄防衛局は稲嶺前市長が反対していた「美謝川の付け替え（建設用地に流れ込んでいるため）」や、辺野古ダム周辺の土砂搬出のために国道329号線を跨ぐベルトコンベヤ設置を狙っています。この件についても、名護市長として態度を明確にしなければなりません。12月名護市議会での議論が次の闘いの焦点になります。来年2月ごろに予定されるデニー知事の承認決定に向け、全国各地で提出された意見書の学習会・集会を開催して、「埋め立て土砂投入反対」の世論を広げましょう。



## <設計変更承認申請への意見の骨子>

SDCCは9月8日に沖縄県に団体として意見を出しました。骨子を掲載しますが、全文はSDCCブログ（9月8日付）をご覧ください。

（意見）

環境影響予測などにおいて、以下の問題があるので不承認にしてください。

1. 工事を中止し、施工区域内K-4地点周辺の海草藻場の潜水調査を徹底して行うべきです。また、土砂運搬作業船などの水中音を環境予測の対象にすべきです。確認されているジュゴンの鳴音などの資料について公表し、IUCNの意見を求めるべきです。
2. 「土砂運搬作業船の夜間航行を中止する」など環境保全措置を遵守すべきです。大浦湾をジュゴンの生息地として検討すべきです。
3. 大量の土砂投入は大浦湾の海草藻場やサンゴを壊滅させます。埋め立て土砂の採取先や採取量などの資料を提出すべきです。土砂採取先の環境アセスをすべきです。
4. 工事区域内にある活断層（2か所）の調査資料と、水深90メートルまで軟弱地盤があるB27地点の調査資料を求めるべきです。
5. 長い工期による莫大な工事費用を新型コロナ対策費に使うべきです。
6. 美謝川の切り替えなどの整備工事について、その理由を明らかにすべきです。



# 設計変更申請手続きを国際的取組みに繋げよう

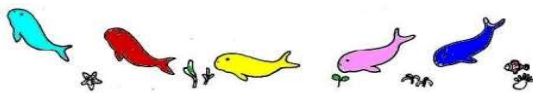


辺野古・大浦湾の未来を左右する設計変更申請手続きが進んでいる。この国内手続きをいかに国際情勢や国際的取組みに繋げていけるか。それが今後の鍵となる。

まず注目すべきは11月3日の米国大統領選挙だ。共和党のドナルド・トランプ大統領と民主党でオバマ政権時代の副大統領ジョー・バイデン氏の一騎打ちだが、米メディアはバイデン氏の勝利を予測している。

バイデン氏勝利の場合、米政府の環境政策の改善が期待でき、環境保護の視点からの新基地建設問題を訴えることがより意義を持つ。一方、米国の環境政策を大幅に後退させてきたトランプ氏が再選された場合、環境保護の視点からの基地建設反対は非常に困難になる。また、どちらの候補が勝利したとしても、様々な分野で影響力を強める中国に対して強固な姿勢をとることが予想されている。

それゆえ、地政学的要素が強調されることを念頭に置き、新基地建設反対の声を日米政府や国際社会に示すことが求められている。そしてその為には変更手続きを最大限に活かすことが大切だ。



まず、設計変更や新基地建設自体が「公有水面埋立て法」に反していることを明確に示し、玉城知事が変更申請を不承認にすることが絶対条件となる。それを踏まえ、基地建設は、日米政府が掲げる「民主主義」「法の遵守」の原則を侵すものであり、計画の中止こそが「民主主義」と「法の遵守」に基づく東アジアの安定に繋がることを丁寧に発信していくが必要になる。SDCC は、ジュゴンの問題を基軸としながら「民主主義」と「法の遵守」の原則に言及していく。

現在SDCCはOkinawan Environmental Justice Projectと協力し、公告縦覧の情報をIUCN や米国海洋哺乳類委員会に報告している。またこれまで連携してきた米国の環境団体を含む国際市民社会にも報告し、可能であれば意見書を沖縄県に提出するよう呼びかけている。さらには公告縦覧／意見書提出が終わった時点で、提出された意見や沖縄県の動向を国際社会に報告し、関心を促していく予定だ。

また、2020年度米国国防権限法に基づき国防総省が提出した辺野古新基地建設の進捗状況を含む報告書を早急に入手し、報告書の問題点を指摘した文書を米政府や連邦議会に提出することを予定している。その際、申請手続きで提出された市民社会からの意見書が重要な役割を果たしていく。

変更申請手続きを国際的取組みに繋げていこう。

(国際担当 吉川秀樹)

## 感染拡大、命より経済優先が原因。日米地位協定の改定も

沖縄県が独自に出した新型コロナ対策の緊急事態宣言は9月5日に解除されました。しかし沖縄県は9月13日現在でも、10万人当たりの感染者数が東京(164人)に次いで2位(157人)で、警戒レベルは全4段階のうち3段階目(感染流行期)。3位の大阪(108人)を大きく超えています。

7月下旬からコロナ感染が急速に拡大した要因は、7月の4連休前に前倒した「Go To トラベルキャンペーン」にあることは明らかです。安倍前内閣、後継の菅内閣も「自助、共助、公助」と個人に責任を押し付けて、「感染防止対策をしながら経済の再生をしっかりと図る」と人命より経済を優先しています。観光収入が落ち込み、財政力が弱っている沖縄県に対して、

今こそ政府は医療体制や宿泊療養体制などの支援を強化すべきです。

日米地位協定による基地から入る米軍人は入国審査を受けることなく出入国できることも問題です。検疫もなく、基地到着時に14日間隔離をしているもののPCR検査をしていないことが明らかになりました。基地で働いている県民は約9千人、県民への感染は測り知れないものです。米国防総省は「個別の基地などでの集計を公表しない」とし、外務省も基地のある自治体に米軍から得た情報を公表しないように指示しています。基地周辺の住民はどのように自らの命を守れば良いのでしょうか。

(事務局 蛸川義章)

# 現場から コロナ禍につけ込む防衛局・・・土砂搬出に拍車

米軍関係者による新型コロナ感染拡大や未必の故意と言える「GoTo トラブル」によってもたらされた沖縄での感染拡大に、県は7月末独自の緊急事態を宣言し、10万人あたりの感染者比率全国1が長期にわたり継続する中、宣言は延長を重ね9月5日まで継続した。

しかし、防衛局は今回は辺野古新基地建設工事や埋め立て土砂搬出作業を一切休止することなく、むしろ、感染拡大防止のための抗議行動自粛につけ込み琉球セメント安和棧橋や本部塩川港からの土砂搬出に拍車をかけてきた。

安和棧橋では連日夜8時まで土砂搬出作業が続けられ、運搬船の大型化とともに数も増やしている。一方、塩川港では、中断前までは台船1隻ずつに積み込み、台船の入れ替えに数十分の時間を要するやり方を改め、2カ所のバースに2隻の台船を同時に着岸させ、平行して積み込む態勢をとり、午前2隻、午後2隻と4隻の台船のフル稼働、搬出量の増大を図っている。



さらに、土砂の採掘箇所も従前の琉球セメント安和鉦山だけでなく、隣接する国場組鉦山や本部砕石鉦山など複数の鉦山からも搬出し、切れ目の無い土砂の積み込みを狙ってきている。これには赤土で大儲けする利権への参入の動きもあるのだろう。本部半島の緑はますます悲惨な状況になっている。

沖縄はまだまだ夏、熱中症対策や密集・機動隊との接触を避けつつ少しでも搬出作業を遅らせる取り組みを続けている。(沖縄 高垣喜三)



本部塩川港

## ZENKO in大阪

# 国際連帯をつよめジュゴンを守ろう 意見書をひろげ変更申請不承認へ

7月26日 2020ZENKO in 大阪で「第10分科会 設計変更申請却下へ！政府は辺野古埋め立て工事を直ちに中止し、ジュゴンの調査を行え」を開催しました。コロナ禍での開催。SDCC 共同代表の海勢頭豊さんは、残念ながら参加取りやめとなりました。ZOOM 配信とあわせた開催は初めての経験です。会場に13名 ZOOM で数名の参加がありました。

基調で、ジュゴン訴訟控訴審の公開審理に代表派遣し、CBD（生物多様センター）との交流を深めたこと。控訴審自身は敗訴したが、新たな裁判の開始に向けた道筋をつけた。そして米海生哺乳類委員会への要請書を71団体の賛同を得て送付したなど、ジュゴン保護、埋め立て中止の国際連帯がすすんだことが強調されました。

ジュゴンの鳴音が工事中に大浦湾で確認され、「工事をやめればジュゴンは帰ってくる」ことは否定できない事実です。防衛省は日本自然保護協会などとの交渉の場でも、まともな返答ができない状態になっていることも指摘しました。

質疑では「不承認にしても、行政不服審査法をまた使って強行するのでは？」などの質問が出ました。だからこそ、埋め立て強行は地方自治の破壊であることを強調して世論をひろげること。公有水面埋め立て承認申請時の3371通を超える設計変更申請書への意見書を、沖縄県に集中し、デニー知事を支えて設計変更申請不承認をぜひ実現しようと確認していました。(関西 松島洋介)



ZOOM 配信した分科会

首都圏

## ZENKO 南部ミーティングで 意見書学習会

8月9日、大田区消費者生活センターにて ZENKO 南部ミーティングが開催されました。2020 全交決議の具体化として、辺野古埋立に関わる変更承認申請書に対し「意見書」を集めることを確認しました。SDCC からパワーポイントで、辺野古埋立の問題点や今後の運動展開などを説明しました。

全交南部では、毎週末に京急雑色駅前で街頭行動を取り組んでいます。その中で、「コロナ署名」と「意見書」を訴えてきました。先日でも沖縄出身の方が意見書を書いてくれ、その日は5通の意見書が集まりました。参加者からは、「街頭で意見書を書いてもらうのはハードルが高いのでは？と思っていたが、関心のある方がいることがわかった」との感想がありました。ZENKO 南部では、100 通の意見書獲得を目指して頑張ります。  
(首都圏 三村昭彦)



官邸前行動

## 意見書ハガキを広げる ～官邸前、辺野古実の仲間と～

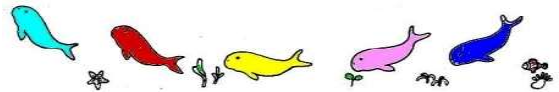


首相官邸前の辺野古新基地反対のスタンディングメンバーに、SDCC の意見書ハガキを見せると「沖縄県に意見書を出すと言うと、敷居が高くて出せないと思っていたけど、これだと、誰でも素直な気持ちで、気軽に意見書出せるね」と、友人や仲間の方もと、皆さん3枚、5枚と持ち帰りました。「このハガキを真似てもいいですか？」と、同じようなハガキを作って、配布している団体や個人の方もいて、嬉しくなります。コロナ禍のため、集会が少ないので、今までの繋がりを利用して、ハガキを広めています。

また、辺野古実（辺野古への基地建設を許さない実行委員会）などの駅前宣伝にも参加して、意見書の提出を訴えたり、小さな集まりを企画して、意見書の事を知って貰う活動をしている人の後押しをするようにしています。

シルバーウィークには、「ジュゴンが棲む辺野古の海を守るために、沖縄県に意見書を出そう！」と、辺野古実の仲間呼びかけて、上野驛前で大きくアピールしたいと思います。

(首都圏 宮城詔子)



## 沖縄から つながりを広めた意見書ハガキ



SDCC が呼びかけている「意見書ハガキ」提出の働きかけとして、本部町島ぐるみ会議総会において、一人一人への手渡し配布に心がけた。「かわいいジュゴンだね」「ジュゴン守らないとね」「記入例もあるから書きやすいね」と数枚を持ち帰って下さる方もいて好評だった。また、伊江島わびあいの里通信で提出運動の働き掛けとして SDCC のハガキの紹介により全国においても好評

を得たと思う。更に、沖縄平和キャンプを取り組んでいる「ぶどうの木保育園」では大好きな沖縄、ジュゴンを守るため意見書の提出に取り組み、仲間の施設にも広がった。

ジュゴンが棲む辺野古の海を守るために、より多くの意見書の提出を。デニー知事の不承認を後押ししよう。

(沖縄 高垣縁)

## 北上田毅さん講演会 Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション6周年

8月23日、SDCC も参加する Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション6周年集会で、北上田毅さん講演会を福島区民ホールで開催しました。沖縄からのリモート講演会です。会場に約80名、ZOOM で約20名の参加がありました。

北上田さんは情報公開で入手した資料を用い、設計変更申請の内容を明らかにしました。護岸を建設する前に、土砂を先行投入する工法が使用されること。軟弱地盤が海面下90mまで堆積する位置でも、70mの地盤改良しか行わず、地盤データをごまかして無謀な設計を「合理化」していること。軟弱地盤上の護岸は不安定で、埋め立て土砂の重量で傾き、震度一地震でも倒壊する可能性があることなどを、平易に説明されました。そして設計変更申請書の公告縦覧が開始され

たら、「誰もが利害関係者。ぜひ意見書を沖縄県に集中してください」と訴えられました。

SDCC からは意見書ハガキを配布し、気軽に広く意見書をだしましょう! とアピールしました。(関西 松島洋介)



リモートで講演する北上田さん



報告

# じゅごん茶話会をひらいています



ジュゴンや辺野古のことを通して、いろいろなことを学び、考え、できることを実践しよう！と始めた茶話会、最近ではコロナ禍を考えるとというテーマでゆんたく（おしゃべり）も。新しい気づきがあったり、楽しくてほっとしたり、そんな場になればいいなと思っています。  
（関西 池側恵美子）

## 参加者さんの声

いつの日からか茶話会常連組に。フィリピン貧困地域の子どもの報告をさせてもらっているうちに「ジュゴンのお話」がマニラの幼稚園 ABAKADA の平和交流で実現。親子で描いてくれたポスターがエコバッグのデザインに！つながりはどんどん深まります。稲嶺市政時に職員がイキイキ働く姿に感動。その背景となる名護市“逆格差論”の歴史を茶話会で学んで納得。連帯バージョンです。 **（Kさん）**

久しぶりに参加した茶話会でした。いつもながらたくさんの資料から、沖縄の現場が垣間見れました。意識の中に置いておかないと、こちら（大阪）では情報が伝わらず過ぎ去ってしまいます。資料の中のいくつかの言葉が心に響きました。話を聞きながらも、参加者それぞれが思っていることを話し合えるって良いですね。又参加しようと思います！ **（Oさん）**

ぼくは、琉球をヤマトの植民地支配から解放したい、と40年来考えていますが、ヤマトのメディアは琉球の情報をほとんど報道しないので、ともすれば気持ちが薄れがちになります。月1回、茶話会に行くことで、最新情報を得るとともに、思いを新たにしているというところです。ただ、広がりがないのが残念。ジュゴンを守ろう、というのなら入りやすいと思うので、働きかけていきたいです。 **（Hさん）**

大阪市内に住んでいます。退職してみると近所付き合いもほとんどなく、このコロナ禍です。「ゆんたく（おしゃべり）」することの大切さを実感します。原発や大阪市政の問題で活動もしていますが、そういう場のお話は大切ですが、せわしないことが多いですね。茶話会は少し掘り下げて沖縄の心にふれたり、別の話題も飛び出して交流したり、ゆんたくひんたく（※）して、おらかな気持ちで帰れるところがいいです。 **（Yさん）**

※ゆんたくひんたく：おいにおしゃべりする様子

じゅごん茶話会は、関西事務所で月1回開いています。どうぞ気軽にご参加を。



皆さんお気軽にご参加下さい！

## ① わんさか通信 ★ ジュゴンの①



首里城の石垣

## 2度目の再建を目指して

衝撃の首里城焼失から早1年が経とうとしています。去年の10月31日11時間に渡り燃え続けました。

戦後アメリカの統治下におかれ日本復帰を果たした1972年、沖縄の心のふるさとである首里城正殿復元の声が上がりました（1度目の再建）。

しかし復元する為に重要な資料の多くが戦争で消失してしまった為わずかな情報を巡りようやく1985年にプロジェクトが動き始めます。色彩や原料など細部まで考慮を重ね、再建までに7年の月日が流れ1992年11月ついに復元を果たしたのでした。あざやかな朱色のあの正殿の復活です。

そして今2回目の復元に向け火災等万全な策で動きだしています。完成予定は6年後！甦れ首里城。

（沖縄 小平裕美）


  
**辺野古異聞(2) - ~こらむ・こらむ~**

大浦湾で、またもやジュゴンの鳴音がキャッチされたという。しかし、ジュゴンの姿も食み跡も見つからず、やはりフロートや鎖の摩擦音ではないか？との新聞コメント。もしも「本物のジュゴンの鳴き声である」と防衛局が断定すれば、それこそ姿なきジュゴンの声で菅新政権もおかしくなる可能性がある。

2004年ハッブル宇宙望遠鏡で確認した太陽系外惑星「フォーマルハウト」を2014年に改めて撮影したところ、周囲を取り巻くちりの輪の中に見えていた小さな光が消えていたという。この幻の惑星には「ダゴン」の名前が与えられていたが、ダゴンとはジュゴンのこと。ジュゴン信仰が黄河文明からシュメール(現イラク)文明に伝わり、人々からダゴン神と呼ばれ信仰されていた歴史がある。上半身女神で下半身が魚のダゴン神が、2014年には消えていたという宇宙の話は、大浦湾からジュゴンが消えたことを暗示してなかなか面白い。

一方、大浦湾には軟弱地盤のミステリーがある。一体なぜ、新基地建設予定地の辺野古地先大浦湾側に、建設を邪魔するようにマヨネーズ状の軟弱地盤が70メー

トルを超える深さで存在するのか？これはどう考えても不自然。そこでキャンプシュワブゲート前友人H氏に聞いたところ、彼は極めて現実的な話をした。「実はあの軟弱地盤は、ベトナム戦争時に潜水艦基地の通り道を作るため、ダイナマイトや不発弾処理でできたもの。砂杭を打てば当然不発弾が爆発する可能性がある。さらに、長島から辺野古弾薬庫にかけての活断層ラインの下には7つの鍾乳洞があって、とても基地建設などできない」「今も辺野古弾薬庫には直接潜水艦が出入りして弾薬を積み下ろしするための観音開きのドアと格納基地がある」。そして「辺野古断層沿いの第3ゲートの海近くに監視用の平家の建物があるが、その地下には沢山の人が埋められている」「その建物に宿泊する人は夜通し眠れずおかしくなる」とのこと。「そこは大浦湾収容所跡の近くだが、もし名護市教委が人骨の発掘を見逃せば、恐らくみんなおかしくなり、祟りは続くだろう」という。

海勢頭豊 (うみせど ゆたか : SDCC 共同代表)



「森の旅人 REASON FOR HOPE」

ジェーン・グドール著 上野圭一訳 (発行:角川書店)



本の紹介



今年4月、日本で緊急事態宣言が出されたころ、霊長類学者のジェーン・グドール博士は「われわれが自然を無視し、地球を共有すべき動物たちを軽視した結果、パンデミックが発生した。」「私たちは自然界の一部であり、自然界に依存しており、それを破壊することは子どもたちから未来を奪う。」と発言している。

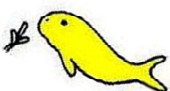
本書は、一緒に寝たいからとミミズをベッドに持ち込むほどの動物好きだった子ども時代、タンザニアでのチンパンジーの研究、結婚や出産、その後の自然保護活動などが書かれたグドールさんの自叙伝です。野生動物と一緒に暮らしたいという思いだけで23歳で単身アフリカに渡った行動力には感嘆し、チンパンジーとの

深い心の交流には心温まります。

後半は、著者自身に起こる様々な困難、環境破壊や飢餓や貧困などの危機的状況についても言及されるが、著者は「わたしたちはヒトという種の究極的な運命—慈悲と愛のある状態に向かって進化している」と希望を持ち続けている。「ただし、わたしたちが生き方を、すみやかに変えさせれば」との条件付きで。「未来のために世界を救うかどうかは私たちの手に、あなたの手、私の手にかかっている。」

(関西 山根富貴子)

(注) 本書は、絶版になっています。図書館やインターネットでお探ください。



# INFORMATION

## <首都圏>

- ・9月28日の意見書提出期限まで、意見書ハガキをひろめます。
- ・9/28以降の行動については、HP、FBなどで改めて告知いたします。

## 《 今後のスケジュール 》

## <関西>

- ・9/27(日)みのおピースフェスタ 西谷文和さんと語ろう  
13:30~16:00 箕面文化・交流センター8階大会議室
- ・10/3(土)ニジノキセキ上映会 尼崎市レピエセンター3階ホール(阪急武庫之荘下車南徒歩5分以内) 14:00~



今回から街角で見かけたいろんなジュゴンをシリーズでご紹介していきます！

まずは無印良品で見かけた子供向けに販売されているTシャツです！なんとジュゴンのTシャツが、どど〜んと飾られていた時には感動しました！大人向けがないか聞いたところネット限定だそうです。確認したらすごい激安価格で売られていました。(このニュースが出る頃にまだ売れているかは確かではないです)

ネットによると、絶滅の危機にある動物たちのTシャツで子どもたちがこのTシャツを着ることで、モチーフとなる生きものの保護活動に繋がり、生きものたちの置かれている状況に興味を抱くきっかけとなることを期待するということでした。う〜ん、コンセプトはいいんですが、どこにもそのようなコメントが店頭では表示されていないのが残念でした。

でも売り上げの一部はIUCN-Jに寄付されるそうです。あのー・・・私たちSDCCもIUCNの会員なんでジュゴンTシャツの売り上げの一部はSDCCにもいただけませんか？！

(関西 上田千鶴)



## 原稿の募集！～皆さまからの投稿をお待ちしています

コロナ禍の暑い暑い夏、皆さまいかがお過ごしだったでしょうか。じゅごんの里ツアーやイベントなどの開催ができず、思うように交流ができない状況が残念です。そこで、ちゃんぶるニュースの誌面に読者との交流コーナーを新設し、会員の皆さまの声を掲載したいと思っています。ちゃんぶるニュースの感想や、ご意見・ご要望、ジュゴンへのメッセージ、日々取り組んでいることなどを、300字程度でメール、FAX、お手紙などでお寄せください。皆さまの声が届くのを楽しみにお待ちしております。 ※お名前と連絡先を明記くださいね。

## Editor's Note

ベランダでオクラを育てています。オクラはアオイ科の植物で食べてもおいしいが、美しい花が咲きます。菅政権が成立し、情勢は厳しいですが、ジュゴンをまもり人の心に花が咲く世をめざしてみんなで力をつくしましょう。(M)



ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.112 2020年9月29日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号京橋ベース  
(旧野口ビル) 302 TEL/FAX 06-6353-0514

## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:  
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター  
口座番号 00140-9-660199  
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店  
口座番号 普通 8159084